

架線系林業機械による集材技術の現地検討会

- ・ スイングヤーダ（日光市内民有林、令和5年8月22日開催）
- ・ タワーヤーダ（那珂川町内民有林、令和5年8月25日開催）

栃木県内では架線系による作業システムを採用している事例は民有林の一部に留まっており、国有林において急傾斜地等における効率的な森林施業、林地保全に配慮した施業の推進に向け、まずは職員に架線系の集材の実際を理解していただくことを目的に開催しました。

スイングヤーダによる作業地では、日光市及び栃木県県西環境森林事務所にも参加を呼びかけ、合わせて14名が参加、タワーヤーダによる作業地では、塩那署、日光署の合わせて17名が参加して架線系を導入するメリットや課題等について意見交換を行いました。

架線系による作業システムを導入し根付かせていくためには、地域の民有林・国有林の行政及び事業者が連携して取り組んでいく必要があり、今後、規模を拡大した検討会の実施を検討しています。



スイングヤーダによる集材作業



検討会の模様（日光市、栃木県も参加）



タワーヤーダによる作業地での検討会の模様